

東日本旅客鉄道株式会社

<https://www.jreast.co.jp/>



《将来に向けた取組方針》

- ・持続可能な社会の実現に向け、自然の営みと事業活動が調和した経営を志すとともに、地球温暖化防止やエネルギー多様化の取組を通じて、脱炭素社会の実現を目指し、自然共生社会の構築に貢献する。
- ・森や河川、海洋の生物多様性保全の活動に自発的かつ着実に取り組んでいくとともに、地域固有の自然資本を活用した地方創生に取り組む。
- ・持続可能な社会づくりに向け、環境教育・人材育成に取り組む。

【グループ経営ビジョン】



【具体的取組み事例】

（事例①）

ふるさとの森づくり(2004年～)

その土地固有の樹木を植えて森を再生する活動。



（事例③）

（株）バイオームとの連携(2020年実証実験)

AI動植物種別判定ゲームアプリにより、ゲーム感覚で沿線を回遊してもらうとともに、得られたビックデータを環境保全につながる事業に活かす。



（事例②）

プラスチック削減の取組み(2019年～)

エキナカやホテルなどのJR東日本グループ会社直営店舗で、レジ袋及びストローをバイオマスや生分解性素材などに置き換えるプラスチック削減キャンペーン。



（事例④）

出前授業による環境教育(2009年～)

駅や車掌・運転士として働く社員が直接小学校に出向いて「環境問題」等を理解してもらう教育プログラム。



【今後の課題等】

- ・環境目標「鉄道事業のCO₂排出量『2030年度50%削減(2013年度比)』および『2050年度実質ゼロ』」の達成
- ・生物多様性の取組みの継続的実施及び新たな取組みへの挑戦
- ・更なるオープンイノベーションの実現 等

【社会に向けたメッセージ】

生物多様性の取組みは、JR東日本グループの経営ビジョンにおけるESG経営の一環です。取組みを通じ、SDGsの達成と、愛知目標でビジョンに掲げる「自然と共生する世界」の実現に貢献します。